

農業技術

プリズム

「なつたより」は当センターが育成したビワ新品種で、2009年に品種登録されました。果実重は約60gと、長崎の主要品種である「茂木」の約1・5

カラーチャートを使って収穫した「なつたより」の果実品質

カラーチャート値	糖度 (Brix)	酸含量 (g/100ml)
6	13.3	0.45
7	13.6	0.22
8	14.0	0.22
9	14.1	0.16
10	14.4	0.15

ビワ「なつたより」

カラーチャート配布 一目で収穫適期判断

倍で、果肉が柔らかく、果汁も多く、糖度も高いので、とてもおいしいビワです。ビワは収穫後に追熟しないた

め、適熟期に収穫する必要がありません。「なつたより」は交配親の「福原早生」に似て、果皮色がやや淡い橙黄色（とうごう

しょく)です。そのため、「茂木」の感覚で収穫すると過熟となり、酸含量が低過ぎて糖酸のバランスが崩れるため、食味が低下してしまいます。そこで、収穫適期を果皮色で判断するカラーチャートを作成しました。

熟度の異なる果皮色と果実品質のデータに基づき、カラーチャートは1〜10に区分され、数値が大きいと赤味が強いことを示します。果実の赤道部の色がカラーチャート値6では、まだ酸含量が高過ぎて未熟ですが、7、8になると果実は糖度約14、酸含量は100ミリリットル当たり0・20g程度と適熟になり、食味も良好となります。表。

完成したカラーチャートは、昨年5月に「長崎びわ産地活性化協議会」で作成し「なつたより」生産者へ配布しました。(県農林技術開発センター 谷本恵美子)